

市問う！
市政を！

一般質問

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えをただし、報告や説明を求めることです。
◎ここに掲載したのは要約で、会議録に基づき議員本人が編集したものです。
◎詳細は会議録（今回の会議録は、3月頃からホームページ、図書館、各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご参照ください。

氏名	質問の要旨
永島 守	1 大川市構想について
遠藤 博昭	1 教育行政について 2 男女共同参画について
川野栄美子	1 循環型社会の形成と大川のごみ処理について 2 「子育て不安」「保育士不足」について
石橋 忠敏	1 大川中央公園におけるトイレ設置について 2 強制排水ポンプの進捗状況について
水落 常志	1 集落の中の道路・水路整備について 2 学校給食について
池末 秀夫	1 防災について 2 インテリアシティ大川について
宮崎 稔子	1 高齢化社会に向けての取り組みについて 2 義務教育における学力向上に向けての取り組みについて



教育行政について
男女共同参画について

遠藤 博昭 議員

問 全国学力テストの結果を踏まえ、本市の小中学校では、どのように授業改善がなされているか、また、今年の全国学力テストの結果と評価については。

答 全国学力テストの結果は、小中学校では、全ての教科、領域で全国平均を上回った。特に、B問題は、国語、算数ともに過去5年間で最も正答率が高い。中学校では、国語、数学ともに、全国平均よりわずかに低く、過去3年間で大きく変わっていない。

次に、課題とその改善策は、小中学校では、国語の読むことや算数の数量関係の基礎的・基本的な内容の習得が不十分であり、習熟度別指導や個別指導などで学習を充実させる。中学校では、基礎的、基本的な内容の習得が不十分で、言語活動を位置づけた授業の工夫、数学的な見方や考え方を伸ばす指

導の充実が必要であると考えている。また、多くの小中学校が、学校の重点目標に言語活動を取り入れた授業改善を掲げており、校長を中心に学力向上に取り組んでいる。

問 本市にとり、男女共同参画推進条例は、なぜ必要なのか。また、男女共同参画推進のためにどのような事業に取り組んでいるか。

答 男女共同参画の推進に関する条例は、国において女性の活躍推進が成長戦略の柱として位置づけられていることや、ドメスティックバイオレンスやセクシャルハラスメントの防止及びその被害者支援、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みとしても重要であることは認識している。また、大川女性ネットワークの協力のもと、学習会やフォーラム、セミナーの開催等、事業に取り組んでいる。



大川市構想について

永島 守 議員

私は大川市構想と題し、教育・企画・地域支援・建設・人事5課の多岐にわたり回答を求め、いずれも真摯な回答を得ました。
※詳細はインターネット録画においてご視聴願います。
今回は大川市将来構想指針に関する件に限り報告いたします。

問 長年描き続けた有明海沿岸道路利用構想は現在、最も重要な時点に差ししかかっている。我々大川市国県事業対策推進協議会「市議有志7名」は国県関係機関に対し、国県の事業推進活動を行っている。11月25、26日に上京し地元国会議員をはじめ、国交省河川局、道路局及び関係先を訪れ、事業計画と必要性について理解を求めた結果、その理解と強い感触を得た。市として今後の取り組み、指針を明確に示していただきたい。

答 道の駅構想は地方創生実現の

極めて有力な手段であり、総合戦略に位置づけ検討すべき重要施策と考えている。既に県道大牟田川副線から有明沿岸道路までの連絡路は本年度福岡県により事業化されている。本市は「川、道の駅」構想を大野島北部地域で進める方針を決定した。この構想実現のためには、まず有明沿岸道路の構造設計の変更が課題であるが、上京要望の際には一定の理解を得たと認識している。引き続き事業展開できるように、今後、国県への要望に積極的に取り組みたいと考えている。まとめ・川、道の駅構想については一定の方向性が決まったわけである。微力ながら推進協議会委員、更にはやる気、本気で参加される地域住民の方々を募り、百名規模の支援を図りたい。是非、鳩山市長の手で完成させていただくよう願っている。



循環型社会の形成と大川のごみ処理について
「子育て不安」「保育士不足」について

川野栄美子 議員

問 循環型社会の推進には日本だけでなく、世界の国々の連携が必要だが、本市のごみ減量の目標や取り組みは。

答 可燃ごみの量は、26年度は8千907トンで、18年度比で約2千500トン減少。33年度に7千600トンを目標とする計画を立てている。

問 ごみを燃やす費用は、1日あたりいくらか。

答 約56万円。

問 学校給食の残量とその率は。

答 小学校は御飯が8.5キロ、率3.5%、おかずが14.6キロ、率3.3%、パンが75.6個、率4.2%。

中学校は御飯が10.5キロ、率5.2%、おかずが13.7キロ、率4.6%、パンが56.5個、率5.7%。

問 小中学校の環境教育は。

答

環境保全に主体的にかかわることができる能力や態度を育成するため、体験活動を仕組んでいきたい。

問 生ごみば、入れん！宣言袋の

効果は。

答 千世帯目標に対し、登録百件で効果が上がっていない。

問 環境王はイベントのあり方がマシネリ化しており新しい発想は。

答 担当の環境課と協議を行い、より良いものになるよう努力する。

問 焼却炉は、あとどれくらいもつか。

答 もって15年ぐらいだろうと考える。本市が新しい焼却炉を作る可能性はゼロに近い。市民のごみを減らす努力がほしい。

問 出産や子育てに前向きになれる要素を厚生労働省の白書で報告しているが本市はどうか。

答 白

書の4つの要素は重要だと考えている。子育てするなら大川市でと感じられる支援施策をやっていく。

問 保育士不足は。

答 全国的な

保育士不足で、中途採用は難しい。
問 女性の再就職環境の整備は。
答 環境整備は、就労セミナー開催等を市報等で周知している。